

令和5年度指定管理者モニタリング外部評価結果

施設名	関市下有知ふれあいセンター
-----	---------------

選定方法	特定者氏名	
------	-------	--

外部評価

4	優れている
---	-------

コメント

- ・外国籍の方の利用や幅広い年齢層の利用に努めている。
- ・施設の管理状況及び収支について概ね適切である。今後も様々な年齢層のイベントが行われることを期待する。
- ・外国人との共生に向けた簡単なガイドを作ってもよい。
- ・適正に運営されている。
- ・協定書に修繕費の件数上限がないのはやや問題がある。
- ・利用料金は市内と市外の方で価格差を設ける検討をすべきである。

令和4年度 指定管理者モニタリング結果票

施設名	関市下有知ふれあいセンター
所在	関市下有知3245番地32
指定管理者	しもうちふれあいまちづくり協議会
担当部署	協働推進部 市民協働課
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
総合評価	地域外の利用者に対して、丁寧に対応しており、良好な管理運営が図られている。今後も地域住民の交流の場を提供し、地域に密着したコミュニティ活動の拠点施設としての取り組みを図りたい。
合目的性・公平性・効果性(施設の目的との合致、市民の平等利用の確保、施設の効用発揮)	主に下有知地域の住民に利用されており、下有知地域の拠点施設として地域のコミュニティ活動及び地域の発展に大いに寄与しているものとする。また、外国人への利用者にも貸館をしており、下有知地域の活性化のために努力している。
機能性・独創性(事業への具体的な取り組み方)	三世代ふれあい活動、ふれあい文化祭など各世代がふれあう活動が行われている。また、ふれあい山王山登山などを通じて交流活動にも積極的に取り組んでいる。
責任性・実効性(施設の運営体制・組織)	パート等の職員を3名雇用し、必要十分な職員体制で業務を行っている。予約システムの運用が始まり、システムの操作方法などで戸惑いがあるが、利用者に対して、積極的に声をかけをしたり、一緒に操作をしてシステムの運用に努めている。
安定性・安全性(管理の安定性と安全管理、緊急時等での対応)	必要な保守点検業務を実施しており、施設の安全管理に努めている。緊急時の連絡体制を整備し、訓練も定期的に行っている。コロナ禍においても、コロナ対策がしっかりできていた。
社会性・貢献性(市や地域への貢献、環境への配慮等)	地域委員会の活動や地域のサークル、教室への貸館業務を通して市や地域に貢献しているとする。環境面としては、利用者に省エネを呼び掛けている。
効率性・経済性(経費の縮減と収入の増加対策)	コロナが終息し、コロナ前の利用者が戻りつつあり、収入が増加傾向にある。また、予約システムの導入により、幅広い地域からの利用があり、今後の利用者の増加が見込まれる。燃料費の値上げに伴う電気代高騰のため大幅に電気代が高騰している。
経営の健全性	繰越金が適正な範囲であり、十分な活動が行われている。
課題・業務改善への考え方	指定管理者としての管理運営は問題なく行われており、引き続き良好な管理運営をお願いしたい。

過去3か年の運営状況

施設名	関市下有知ふれあいセンター
指定管理者	しもうちふれあいまちづくり協議会
担当部署	市民協働課

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数(人)		7,454	10,913	12,687
収入	収入額(円)	4,611,050	4,831,914	5,369,808
	うち市からの指定管理料(円)	3,988,000	3,980,000	4,098,000
	他の主な収入内容	527,590	640,740	854,790
	使用料の受入先 (どちらかに○)	指定管理者 市	○	
支出	支出額(円)	4,401,887	4,416,909	5,083,954
	主な支出内容	維持管理経費	維持管理経費	維持管理経費
差引	差引(円)	209,163	415,005	285,854
	損益の処理方法 (どちらかに○)	指定管理者 その他(具体的に)	○ ()
職員数	職員数(人)	2	2	2
	内パート等の人数(人)	2	2	2